

令和3年度第1回青少年問題協議会 協議事項

【協議事項2】

協議題	児童生徒が、ゲーム依存により生活（家庭生活・学校生活）に支障をきたさないようにするための取組について
<p>提案説明 (経緯・背景)</p>	<p>1 令和2年度本協議会協議内容「子どもを取り巻く ICT 環境（タブレット端末・スマートフォン等）」</p> <p>(1)令和元年度以降、本協議会において子どもを取り巻く ICT 環境について、様々な角度から協議がなされ、特に、ゲーム依存等の家庭での ICT 機器の使用について協議された。</p> <p>(2)これらのことから、令和2年度は、市内各中学校ブロックで開催する「青少年健全育成会議」において、ゲーム依存に関する講演をおこなうとともに、本協議会発行の啓発資料において、ゲーム依存理解への講演動画を案内した。</p> <p>2 スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー連絡会</p> <p>(1)令和3年6月10日に開催した、西脇市スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー連絡会において、「ゲーム依存と不登校の関係性」を客観的に把握することにより、学校と家庭・関係機関が連携し、児童生徒のより良い家庭生活・学校生活につなげることを目的とした研究が必要であることが協議された。</p> <p>(2)本市スクールカウンセラーと本市生徒指導担当者・不登校担当者が連携するとともに、本市スクールカウンセラーが所属する大学と共同して、「ゲーム依存チェックリスト・指導の手引き（保護者用・教職員用）」を作成したいと考えるにあたり、青少年問題協議会員様のご意見をいただき、本協議会からの発信としたい。</p> <p>資料編ページ</p> <p>【資料編P17～18】西脇市スクールカウンセラー連絡会協議内容 永浦 拓（本市スクールカウンセラー・神戸医療福祉大学准教授）</p>

※ICTとは

ICT（インフォメーション&コミュニケーション テクノロジー（情報通信技術））の略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指します。

コンピューターによる情報処理だけでなく、インターネットのような通信技術を利用したサービスの総称です。

※ゲーム依存（ゲーム障害）

WHO（世界保健機構）による国際疾病分類でゲーム依存が「ゲーム障害」の病名で依存症分野に加わりました。